



## 安倍改憲発言と今後の闘い

「九条の会」事務局は6月20日、安倍首相が5月3日に、憲法9条を2020までに変えると発言したことに対して、その目的と危険性について考える学習会を開きました。その中で渡辺治一橋大名誉教授が講演。

渡辺氏は、「戦争法に反対する国民的な共同ができ、さらに戦後初の野党の選挙協力を生み出した。これが安倍改憲の大きな障害物になっている」と指摘。安倍改憲反対が野党共闘の課題になっている中で、9条への自衛隊の明記と教育無償化と合わせた安倍改憲のねらいを、公明党の強い協力と、野党の共同の分断だと指摘。さらに、安倍首相が来年の通常国会で改憲を発議する危険性を指摘し、「この夏から秋にかけて広く根を張って学習し、国民に9条加憲の危険性を伝え、改憲の発議を阻止する運動を九条の会が作っていく」と呼びかけました。

### 共謀罪許すな 流山で緊急集会

6月12日、共謀罪強行の緊張の中、「九条の会・流山」の呼びかけで、西初石ふれあいの森で緊急集会を持ちました。(13日の東京新聞でも報道)集まったのは約30名。流山在住の憲法学者隅野隆徳先生にご挨拶と報告をいただき、簡単な打ち合わせの後、おたかの森駅まで行進し、駅で1時間ほど宣伝をしました。おたかの森駅での宣伝には直接参加された方もあり、45人ほどで元気に呼びかけました。駅での宣伝にはこの日に向け500枚のチラシを用意、署名も集



めましたが、翌日にも強行採決の恐れがあるという状

況のため、抗議のfaxを呼びかけたチラシと九条の会のリーフなどを配布、ほとんどがなくなるほどで、さすがに国会終盤の暴挙は関心が高いのか。

**国会開け！ 共謀罪元に戻せ！**

## 改めて市議の皆さんに報告と申し入れ

### 9条の会・流山

9条の会・流山は市議の皆さんに憲法に関するアンケートをお願いし、その結果をお知らせしましたが、6月議会の一般質問の始まる初日、市議会を改めて訪問。各会派の部屋を回り、この結果のまとめと、ニュースNO.134、135を届けました。

アンケートへのご協力に感謝するとともに、まだ回答を頂いていない方には再度お願いし、回答をいただければ集計も改訂版を作るとお伝えしました。

## 原発推進のツケ 東芝ピンチ

明治の初めから電機会社として日本をリードし初めての白熱電球を製造発売したマツダランプの灯が消えそうだ。

東芝は日本を代表するメーカー。電器産業から手を広げ原発に手を付け、拡大して日本の原発の半数近くは東芝が建造。特に事故を起こした福島原発は東芝製だ。それでも懲りずに原発事業拡大を目論んだ。原発のトップメーカーのウェスティングハウスWHを買収したと得意だったのだったが、これがとんでもない食わせ物。買収したWHが抱えていた膨大な赤字を背負い込むことになって東芝は倒産寸前。こんな危機でも銀行はどこも助けない、融資しないという。そこで立て直しのために虎の子の半導体部分を売却するという羽目に陥っている。その売却先がまたまた政府が用意したファンド。米韓と一緒に助けるのだとか。政府系ファンドというのは要するに税金。国民が反対している原発拡大に手を出し、失敗し、挙句の果てに税金で立て直し。結局国民の金で支える。これでも私企業なのだろうか。

株主総会では原発撤退の提案も出されたが、否決された。政治だけでなくここにも国民の監視の目を。

